

## 総合的な学習の時間 「すみよしハッピープロジェクト」

川崎市立住吉小学校



### 単元（題材）目標

- 自分たちの住むまちには、様々な立場の人々が共に暮らしていることに気づき、障害のある人や高齢者との交流や体験活動を通して、障害のある人や高齢者の感じ方や考え方などを理解し、その人の立場に立って考えることができるようにする。
- 様々な立場の人々と共に暮らしていくために、自分たちができることを考え、実践しようとする意欲を高めるようにする。

### （1）実施時期

通年（手話に関わる活動は、1月～2月）

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 87名（3クラス）

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4学年担任 3名

※手話の指導に関しては、インターネット上の動画を参考にしながら、実行委員を担当している児童を中心に行った。



### （4）実施内容

- ① ユニバーサルデザインをきっかけに、身の回りの福祉について調べ学習を行う。
- ② オンラインウェブ会議ツールを活用して、様々な立場の方々から話を聞く。
- ③ パラスポーツの一つであるボッチャやアイマスク等着用して体験する。
- ④ 6年生を送る会で手話を交えた歌を歌い、感謝の気持ちを表現する。（「えがおの芽」）
- ⑤ 学習のまとめをする。

### （5）成果

- 様々な体験活動を通して、障害のある人や高齢者の感じ方や考え方を理解することができた。
- 手話を体験することを通して、様々な立場の人々とコミュニケーションをとるためには工夫が必要であることを理解するとともに、お互いに支え合うことの大切さに目を向けることができた。